

一、工場主側

工場代理人小樽宮藏ニ一任工場主ハ金策ノ爲何レハ行キ
本月八日幾分ノ金負ヲ滿ヘニ三日中ニ帰宅人ヘキ旨通信セルカ
目下所在不明ナリ

尚前記小樽ハ本月五日職工代表者黒坂興盛外ニ名ニ対シ工場
主ヨリ金壹千五百圓(一人當八十圓)ヲ提供スベキヲ以テ同滿解決
ヲ望ム旨申出ラシリ

二、職工側

前記工場代表ノ申出ヲニ対シテハ強硬ニ反対シ過日提出セル
要水項目ノ負徹ヲ期スベシト主張今後ハ工場主並接ニアラ
カシバ會見セズ 又吾々モ労働組合ノ介在ヲ辞ストテ工場
ニ階食堂ヲ本部トシテ専ラ工場主ノ帰宅ヲ待テ居リ何等
不穩ノ行動ヲ認メズ

右及申(通)報俟也

5.1 28
969

勞務第三一九七號

昭和四年十二月二十一日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿
社 會 司 長 官殿
京都大阪神奈川各府縣知事殿

白石工場勞働争議ノ件(第四報)

要旨(一)工場主定、硝子ノ二枚石硝子四枚ヲ破壊セル者アリ争議團員ノ所爲ト認メ幹部三

名ヲ檢束取調タルモ其ノ形跡ナク其他ノ關係取調中

(二)一般狀況ニ變化ナク工場主協定セハ解決ノ見込アリ